

公表

事業所における自己評価結果 児童発達支援

事業所名		公表日					2026年7月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・個別療育時に3名同時に行う際は狭さを感じることがありますが、指導員間で声を掛け合ったり、限られたスペースを活用しながら内容や設定を工夫しながら行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・適切であると思います。集団療育時には複数の児童を担当することもありますが、見れる範囲であると思います。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・環境上の配慮がなされていると思います。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・始業前後で清掃活動を行っているなど清潔さはあると思います。 ・傷の確認など意識しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・個別の部屋は無いですが、スペースを区切って対応するなど状況によって対応できる環境だと思います。	・物理的に部屋を用意することは難しいですがマットで空間を仕切るなどすれば対応することができます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・始業前後でミーティングを行っており共有しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・ミーティングで共有しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・始業前後でミーティングを行っており共有しています。	・年齢を問わず意見を伝えやすいような雰囲気でのミーティングを心掛けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・主にオンラインを活用しながら、機会を確保しています。	・オンライン研修の頻度を増やすなど業務がある中でも受けやすい機会を提供していきたいです。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・面談や体験時をはじめ毎回のフィードバック時に様子を把握し、計画やサービス内容に反映させています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・日頃のミーティングでの内容や保護者様との面談の内容を基に作成が行われています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・感覚統合理論を土台に他のアセスメントツールを用いながら適応行動につなげています。	・個々の特性を理解しながら柔軟に対応することを変わらず心がけて接していきたいです。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・立案はその日担当する指導員ですが、これまでの活動の様子をミーティング時に情報を共有することで多角的に関わるように心がけています。	・チームで関わることを大切にしたいため、担当制ではありません。今後も変わらず、指導員が1人の児童への担当意識を持てるようにしていきたいです。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・担当制ではないため固定はしていないと思います。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・されています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・毎回、支援開始前にミーティングを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・毎回、支援開始前にミーティングを行っています。	・それぞれの指導員からの報告や相談を共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・サービス提供記録をきちんと残しています ・保護者様にきちんと記録内容を確認いただいています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25%	75%		・協力体制は継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・幼稚園や保育園、学校訪問など保護者様の要望があれば連携して支援を行っています。	・協力体制は継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・保護者様のニーズがあり、連携を図っている園とは情報を共有する機会はあります。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	・面談するなど直接やり取りする機会はありますが、保護者様から求められればシートに記載する機会があります。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	50%	50%	・直接連携を図る機会は少ないですが、紹介から通所に至るケースがあります。情報誌を郵送いただいています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	・プライバシーや様々な観点（時間や内容、保護者様のニーズ等）から困難であると思います。	・機会があったら良いとは思いますが、現実的には難しいように感じます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・毎回、お迎えのフィードバック、相談支援時に活動の様子をお伝えしたり、1週間の様子をお聞きする機会があります。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	・家庭でできることを相談されることもあり、都度ご家庭でできる活動等をお伝えしています。	・支援時間だけでなくご家庭でも行っていたり、度々様々な提案をしていきたいと思っています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・初回の面談時やモニタリング時に確認しています。	

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	・得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・毎回、お迎えのフィードバック、相談支援時に活動の様子をお伝えしたり、1週間の様子をお聞きする機会があります。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	・していません。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・毎回、お迎えのフィードバック、相談支援時に活動の様子をお伝えしたり、1週間の様子をお聞きする機会があります。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	25%	75%	・HPIはありますが情報の発信はしていないと思います。 ・アプリを使ってる連絡体制はとれています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・毎回、お迎えのフィードバック、相談支援、見学時に活動の様子をお伝えしたり、1週間の様子をお聞きする機会があります。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	・閉ざしているわけではないが、個人情報保護の観点から敢えて招待する機会は少ないと思います。	・地域に開かれた施設運営を目指していますが、現状の中で招待するなど難しいことが予想されます。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・マニュアル等を確認しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・面談時に確認しています（フェイスシート）。面談時の資料に確認欄があり記載していただいています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・No.47同様	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%	・されていると思います。 ・わからない。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・されており、共有しています。	・
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・対応しています。 ・研修を受けています。	・施設の構造的にも死角が少なく、研修等も実施しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	・委員会等で確認し共有しています。	